

Vol.
35

美樹会会報

すずらん

Hiroshima Bunkyo University



「委ねる」ということ

同窓会美樹会
会長 白根 悦子(旧姓:山田)
平成10年卒
文学部初等教育学科

今年、広島文教大学に入学されました学生の皆様には、同窓会美樹会会長として心より喜び申し上げます。ご自身の夢の実現に向けて新たな一步を踏み出され、心身共に充実した学生生活を送られますことを祈念しております。新年度を迎え、新たな環境に馴染み、自分の力を発揮していくことは、簡単なようで実は難しいことだと、自身の体験から感じるところです。

微力ながら学校教育に関わる身として、今とても大切だと感じていることは「委ねる力」を育てることです。これまでの学校教育では、一斉指導などで「みんな同じ学習内容」「授業者主導」となり、学習者が受け身になってしまいがちになります。

今後は、一人ひとりが課題意識をもち、自分の学びたいことを進んで学んでいく「個別最適な学び」等へのシフトチェンジが求められます。その中で特にカギとなるのが、指導者自身が学習者に「委ねる」という姿勢です。学習者一人一人の特性や学習進度等に応じて、指導する側が学習環境を整えたり、学習方法の選択肢を柔軟に用意したりします。初めはとまどいますが、委ねてみると、子どもたちの新たな可能性や才能に触れられ、指導方法や学習方法も一つではないのだと感ずることが多々あります。

学校教育のみならず、家庭や職場、地域などの組織でも「委ねる」力は必要だと感じます。「自分でやった方が早い」「あの人は信頼できない」と感じることもありますが、長い目で見ると、お互いのために「委ねる力」は必要な力なのかもしれません。

最後になりましたが、新入生の皆様には、益々のご活躍をお祈りいたします。本学同窓会・美樹会としても精一杯バックアップします。今後とも美樹会へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

第
46
回

美樹会総会・同窓会

令和5年11月26日(日)に本学にて『第46回美樹会総会・同窓会』を行いました。

旧教職員・卒業生・現教職員・在学生、関係者の方々を合わせて55人もの多くの方々にお集まりいただきました。美樹会総会・同窓会は2年ごとに開催しておりますが、令和3年度はコロナウイルスまん延の影響から中止とさせていただきます。第46回美樹会総会・同窓会は、4年ぶりの開催となりました。

そしてこの度、美樹会会長を初等教育学科14期生の白根悦子さんにお引き受けいただくことになりました。

白根会長のもと、会員相互の親睦をはかり、知徳の向上に努め、大学の発展に貢献することを達成するため、役員一同努力してまいります。



美樹会総会終了後は、広島・長崎両市の被爆体験兼任伝承者であられる沖西慶子さんに貴重な資料をお見せいただきながら講演をいただきました。そして講演後、ピアノ長沼靖子さん、ヴィオラ沖西慶子さんからなる「ガルボ」による演奏をしていただきました。客席の目の前でヴィオラとピアノの臨場感あふれる美しい音色を贅沢に時間たっぷり演奏してくださいました。ご参加いただいた方々から「美しい音色に癒されました」「若い世代と交流でき楽しく過ごせました」など温かいお言葉を多くいただき、役員一同、大変うれしく思っております。この場をおかりし、御礼申し上げます。





本学初の留学義務化

理事長 武田 義輝

大学共学化、教育学部の新設、新校舎の開設を断行した2019年から5年が経過しました。

その間、コロナ禍を経て、日本の出生者は2019年の86万4千人から2023年の72万7千人へとたった5年間で約16%も減少しました。

人口動態は不可逆の数値で、遑って増えることはありません。これから年々減少する18歳人口により日本の多くの大学が深刻な経営危機に直面すると予測されています。本学ではこれまでも早めにこの人口動態への対応をしてきましたが、さらに新たな取り組みを幾つか検討・推進しています。

その最初の取り組みとして、グローバルコミュニケーション学科の来年度の新入生から留学を義務付けることとしました。本学で留学を義務付けるのは初めてです。

留学を義務化している大学は多数ありますが、昨今の著しい円安および欧米の治安悪化で留学の事情も変化しています。一方で、本学には姉妹校ラブラブセブ国際大学 (LCIC) という他大学にはない特色があります。このLCICを活用することによって留学を義務化しても学生の金銭面の負担はかなり抑えられます。またLCICは日本の設置基準にも適合するように授業が組み立てられていますので、単位の読み替え等において留学しやすくなっています。LCICを活用することによって初めての留学義務化を成功に導くことができると考えています。

また、この他にもこれから続く大学淘汰時代を生き抜くための施策を講じていきます。教育機関にとって大変厳しい冬の時代が訪れていますが、そのような中にあっても皆さんの母校である広島文教大学はこれからも発展していきますので、ご期待ください。

「ときめき資本主義」ですごそう!

「本が好きだから、図書館司書になりたい!」と考え、広島文教女子大学短期大学部国文学科に入学しました。淳風寮で2年過ごし、かけがえのない友人と出会うことができました。当時は「寮は二人部屋だし、いろいろな制限もあるし、窮屈だな・・・」と思っていましたが、30年近く経った今も、寝食を共にした友人がいることは支えになっています。

現在私は北広島町芸北で暮らし、いくつかの活動をしています。NPO法人西中国山地自然史研究会では、自然の保全や環境教育のコーディネーターを務めています。四季の移り変わりが美しい芸北の風土を、後世に残すために、同じ志を持つ仲間と日々尽力しています。拠点は「芸北 高原の自然館」というフィールドミュージアムです。来館者に必要な情報を提供する、という業務では、図書館同様に情報を取り扱い、一般公衆に調査研究・レクリエーション等に役立てるという司書の夢が叶ったと思います。

もうひとつ「もんぺ」という活動があります。使われなくなった着物を「もんぺ」にリメイクし、暮らす・遊ぶ・働くを体現するものです。一説によると2億枚の着物が全国のタンスに眠っているそう。着物で着るのが一番ですが、もっと気楽に身に着けるには、「もんぺ」が一番!きっかけは、母親がリメイク上手で、ある場所で販売したら「もんぺ」が人気ナンバーワンの商品になったこと。ほぼ毎日もんぺを履く私をみて、友人がアウトドアメーカーをもじり「もんぺる」と名付けてくれました。毎日身に着ける衣類。実は環境問題解決にもつながっているし、着物の色柄って自然に馴染むんです。

こんなふうに、暮らしの中で「ときめき」を見つけ、たくさん貯めて愉快地に過ごす「ときめき資本主義」の毎日が楽しくてたまりません。みなさんも身の回りにある「ときめき」に注目して、つながりを増やしてみませんか?きっと、そこにあるものや、そこにいる人たちが大切な存在であることに気づくはず。

平成8年卒 短期大学部国文学科 河野 弥生 (旧姓: 兼重)



第63回文教祭【ホップ ステップ 文教】

開催日: 令和6年11月3日(日) 10:00~18:00

*最新情報は大学公式Webサイトをご確認ください。

今年度の文教祭のテーマは、「ホップ ステップ 文教」です。今年の文教祭は、再開して3回目となります。規制が緩和され、コロナ禍前のような大学祭が可能となりました。しかし、私たちは完全復活が目標ではありません。「これまでの文教祭を超えるような文教祭を創り上げること」が目標です。そのため「ホップ ステップ ジャンプ」を変えて、このようなテーマに決まりました。去年同様、ステージゲストやステージ企画、模擬店などの人気企画はもちろん、コロナ禍前のように2日間開催に戻し、去年よりもボリュームのある文教祭にしたいとおもいます。皆様に楽しんでいただけるよう大学祭実行委員会一同精一杯頑張りますので、お時間がございましたらぜひお越しください。心よりお待ちしております。

大学祭実行委員長 教育学部教育学科3年 福田 凌也





積み重ね、 受け継ぐことの大切さ

学長 森下 要治

本年4月、日本の文化に関わる大きなニュースが報じられました。平安時代以来、和歌をはじめとする古典文学の伝統を連綿と守り続けてきた京都・冷泉家の御蔵から藤原定家(1162-1241)自筆の『顕注密勘』(上中下3巻)が発見されたとの報道です。『顕注密勘』は平安末期の僧・顕昭が成した『古今和歌集』の注釈に定家がさらに批判や対案を加えたもので、このたび発見されたものは真正正銘の自筆原本です。朝日新聞(4月19日朝刊)は「定家の秘伝 蔵にひっそり130年」との見出しで、その価値を「国宝級」と報じました。また日本経済新聞(6月18日朝刊)も「藤原定家、気迫の古今集読解」として文化欄に大きく取り上げています。冷泉家の歴代当主は一生に一度

だけこの本を開いて秘伝を受け継いだそうですが、明治期の開封を最後に開かれることなく、その存在も忘れられていたとのこと。朝日新聞の見出しの「130年」は、この最後の開封からの年月を指しています。承久3(1221)年に定家がこれをものしてから803年、最後の開封から130年。その歳月の重みと、ものごとを積み重ね、受け継ぐことの大切さを改めて思い知らされたニュースでした。

翻って近時の広島文教大学の状況を見ますと、冷泉家には及びませんが、やはり積み重ね、受け継ぐことの大切さを実感させられています。令和5年11月には、地元・安佐商工会との連携協定を締結しました。可部の地において堅実に続けてきた教育研究活動の成果です。また、本年度は島根県教育委員会との連携協定を締結、教育学部教育学科の前身である初等教育学科の時代から積み重ねた教員養成の実績を評価していただきました。いずれも、先輩方、本会会員の皆様から受け継がせていただいた実績の賜物です。

本学が4年制大学としてスタートした昭和41(1966)年から数えてあと2年で60年、これからもうまづたゆまず、文教の教育研究活動の本道を進んでまいりますので、母校への変わらぬお力添えを何卒よろしくお願い申し上げます。

名誉教授称号授与式

4月15日に名誉教授称号授与式を举行。

このたび、長年にわたり本学に貢献されたご功績を称え、下記の先生方に称号が授与されました。

岡 利道	元大学 教育学部教育学科 教授
杉山 浩之	元大学 教育学部教育学科 教授
小田 典子	元大学 人間科学部人間栄養学科 教授

～同窓会が開催されました～

桜満開の4月1日、卒業60年を迎える可部女子短期大学被服科1期生のクラス同窓会を開催いたしました。開催について、美樹会より、案内送付などのお手伝いをさせていただきました。



在籍48名中、同窓会出席者は14名でした。ほとんどが80歳という高齢にもかかわらず、遠くは東京・大阪方面からも参加くださり、古き良き時代の学生生活を懐かしみました。企画くださった幹事さんに感謝いたします。
昭和39年卒 可部女子短期大学 被服科 榎原 靖子

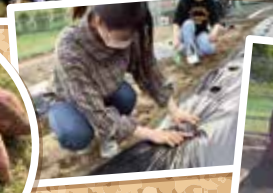
「食品ロス削減への 取り組みについて」

私たち人間栄養学科3年生は、1年次からフードドライブ活動を通して食品ロスを削減するための取り組みを行ってきました。さらに2年次では、基礎調理実習の授業で出た生ゴミを再利用できないかと考え、堆肥として再利用し野菜(さつまいも)を育て、食品生産へと循環させる循環型農業の取り組みに発展させました。この取り組みでは、コンポストを用いた堆肥作り、畝作りから定植、水やり、収穫、文教祭での商品開発と販売を行いました。実際に、生ゴミから堆肥を作ることで、ゴミの減量化や資源化に繋げることができました。また、家庭でも食品ロス削減に取り組んでもらうために、自分たちで育てたさつまいもを皮ごと使えるレシピのリーフレットを作成しました。これを通して、さつまいもなどの食材を育てる難しさやこれらの食材を無駄なく食べることの大切さを知ることができました。

さつまいもなどの食材を育てることからは、苗を植えてからの水やりや間引きなどさつまいもを育てるための日々の環境作りの大変さを実感しました。また、鹿などの野生動物への対策なども食材を育てる上で重要だとわかりました。次に、さつまいもを皮ごと使えるレシピ作りでは、初めてのレシピ考案で進め方が分からず大変でしたが、3種類のレシピを考え、考えたレシピが形になっていくことに達成感を覚えることができました。そして、文教祭での商品開発と販売では、自分たちで育てたさつまいもを利用した5種類の商品を開発し、販売しました。無駄な食材が出ないように工夫したSDGsに貢献するお菓子作りに挑戦し、自分たちで作ったお菓子食べて喜んでいただいたことに嬉しく感じました。

これらの活動を通して、自分たちが普段何気なく処分している食材を工夫することで食品ロス削減へ繋がると実感しました。将来、食のプロである管理栄養士として食品ロスを出さない調理法や食べ方の工夫などの情報発信を継続的、かつ、積極的に行っていきたいと思います。

人間科学部人間栄養学科3年 山崎 優衣、山田 彩可



同窓会美樹会 報告

令和5年度決算について以下の通り承認されましたのでご報告させていただきます。

令和5年度決算報告

(自: 令和5年4月1日 至: 令和6年3月31日)

《収入の部》 前年度繰越金 11,395,063 円ー①

科 目	予算額	決算額	増減額	備考
同窓会会費	4,932,000	1,800,000	▲3,132,000	12,000円×141名
利 息	0	94	94	
総 会	0	80,000	80,000	
寄付金	0	5,000	5,000	
手数料返金	0	648	648	
小 計	4,932,000	1,885,742	ー②	

収入合計 (①+②) = 13,280,805 円ー③

《支出の部》

科 目	予算額	決算額	増減額	備考
行事運営費	300,000	255,575	44,425	
会報作成費	2,000,000	1,706,286	293,714	
奨学金	1,205,500	1,203,740	1,760	
慶弔費	60,000	30,000	30,000	
卒業記念品	300,000	308,550	▲8,550	
文教祭	20,000	20,000	0	
美樹会文庫	60,000	46,668	13,332	
会議費	95,000	85,000	10,000	
通信費	55,000	4,494	50,506	
雑 費	20,000	1,008	18,992	
同窓会費返金		12,000		二重払いのため
小 計	4,115,500	3,673,321	ー④	

次年度繰越金 (③-④) = 9,607,484 円

同窓会美樹会奨学金授与式

令和6年7月17日(水)に令和6年度同窓会美樹会奨学金授与式を執り行いました。

式は、森下名誉会長、植田参与、橋村参与御参列のもと開催いたしました。

森下名誉会長代読により奨学生3名へ美樹会給付決定通知書が渡され、大学生活への激励の御言葉が送られました。



学生代表挨拶では、これからの学業生活への抱負が述べられました。
学生生活が実りあるものになるよう役員一同願っております。

退職された先生

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

大 学

- 教育学科 教授 石原 義文 先生
- 教育学科 教授 岡 利道 先生
- 教育学科 教授 白石 崇人 先生
- 教育学科 教授 杉山 浩之 先生
- 人間福祉学科 教授 小川 真史 先生
- 人間福祉学科 教授 坂井 晶子 先生
- 人間栄養学科 教授 小田 典子 先生
- グローバルコミュニケーション学科 教授 豊後 宏記 先生
- 心理学科 准教授 寺田 和永 先生
- BECC 特任講師 ラットソングリフィス アーサー 先生
- BECC 特任講師 ラットソングリフィス 佑加理 先生
- 人間栄養学科 助手 田辺 早紀 先生

学園統括部

- 参 与 岡本 由嘉 先生
- 高校事務室 事務長 掛田 浩司 先生
- 学生サポート課 課長 田川 知秀 先生
- 就職課 事務職員 後藤 悟 先生
- ICT推進課 特任職員 末広 一裕 先生
- 学生サポート課 特任職員 山本 尚美 先生

美樹会は、
学生のみなさんの
大学生生活を
応援しています。



※その他の大学の最新情報はホームページやLINE (@bunkyo-line) でご覧いただけます。

文教生が奏でる♪ Harmony

昭和54年 短期大学部 食物栄養学科卒業 砂原 満枝

45年前の可部は、三段峡迄続くJRの途中駅で長閑な町でした。数年前より美樹会のお手伝いをさせて頂き、移り変わる町とスマートな学舎に目を見張っています。

平成22年 大学院 教育学専攻修了 蔦村 ひとみ

大学院を修了後、臨床心理士、公認心理師の資格を取り、スクールカウンセラーとして働いています。大学には非常勤講師として顔を出すことがあります。学生さんたちとも話をする機会があり、楽しく行かせてもらっています。私は文教で学んで資格を取ることが出来たので、自分のできる事を社会に還元していけるよう一生働き続けるつもりです。

今学ばれている学生さん達も自分の力に椿をはめしないでどんどん広げていって下さい。お互い頑張しましょう。

平成15年 人間科学部 初等教育学科卒業 為重 紀子(旧姓:藤井)

只今私は、元気いっぱい娘たちと笑ったり泣いたりしながら子育て真っ最中です。2人の娘が学校、幼稚園、習い事などに通う中で多くの人と出会います。そんな時、「私も文教生です!」との声を聞くと、年齢差はあるのですが、とても懐かしく、ホッとします。子どもについて話をしながら大学時代の話をして、忙しい中で心安らぐひと時を過ごすことができます。文教生の人と出会えると、私の心に安心感を持たせ、改めて大学で勉強をした子育ての楽しさを思い出させてくれます。同じ大学の卒業生って本当にいいのです。

昭和58年 短期大学部 食品管理コース卒業 竹山 千寿江(旧姓:新川)

私は文教に、六年間通わせていただきました。最初の二年は学生としてです。食品管理コースは、食品の成分の分析や、食品の加工実習、細菌検査関係の実験など、難しいけど興味深い内容でした。副手として就職してからの四年間は、学生さんの実験実習の為の準備や授業のサポートが主な仕事でした。他に事務関係の仕事も経験し、栄養関係の先生から調理の基礎も教わり、本当に貴重な体験をさせていただき感謝しています。

退職して38年経ちました。現在私は安佐北区のタクシー会社に勤務し、乗務員として働いています。主にお年寄りが通院や買い物で利用して下さいます。降りられる時に、「有難う、助かったよ」と声を掛けていただき、やりがいを感じています。私も微力ながら人のお役に立てているのだと喜びを感じます。ミキ先生も笑顔で見守ってくださっている気がします。

美樹会文庫コーナーの設置

本学附属図書館には、「美樹会文庫コーナー」を設置していただいています。学生の皆さんが有意義に図書館を利用いただけるよう、図書館イベント「ブックハンティング」の活動支援を行っています。

事務局より

- 住所、名前の変更、ハーモニーの原稿を投稿してくださる方は、下記の受付フォーム、メールまたはお電話、お手紙にてお知らせください。

「美樹会登録内容変更届・ハーモニー投稿フォーム」
(URLまたは二次元コードを用いてアクセスをお願いします。)

<https://forms.office.com/r/EHnqQhzcPH>



- ご結婚を予定されている方は、美樹会より祝電のお祝いをさせていただきます。学科、卒業年、名前、新姓のほかに結婚式の日時、式場名、式場の住所を、下記の住所までお手紙、またはメールにてお知らせください。
- 会報に関するご意見、ご感想など、お気づきの点がございましたら、学科、卒業年、名前を明記の上お寄せください。

編集後記

創立者 武田ミキ先生の好物は、故郷のそうめんでした。柔らかな茹で加減で召し上がっておられました。そして、今も創立記念日には「鯛そうめん」として饗宴されています。縁起のよいこのそうめんに込められた伝承の想いが、学園への「感謝の心」を紡いでおります。“温故知新の輝き”ぜひ!また学園に足をお運びください。

令和6年9月9日発行／広島文教大学同窓会美樹会
〒731-0295 広島市安佐北区可部東一丁目2番1号
TEL (082) 814-3191 (代表) FAX (082) 815-6801
E-mail mikikai@h-bunkyo.ac.jp 編集: レタープレス株式会社